



ポーランド広報文化センター  
INSTYTUT POLSKI TOKIO

ポーランド広報文化センター  
駐日ポーランド共和国大使館  
東京都目黒区三田 2-13-5 153-0062 Japan Tel. +81 (03) 5794-7050  
www.instytutpolski.org

2020年7月14日 東京にて

北海道ポーランド文化協会の皆様、お集まりの皆様

本日、平取町立二風谷アイヌ文化博物館 第25回特別展「1903年夏の平取～B・ピウスツキたちの短期調査より」移動展 in 札幌 が無事に開幕することに際しまして、ポーランド広報文化センターより心よりお祝いを申し上げます。

本来であれば直接お伺いをしてご挨拶をさせていただくべきところ、お手紙でのご挨拶となってしまう、お詫びを申し上げます。

これまで幾度も、弊センターは北海道ポーランド文化協会の催しに携わらせていただきましたが、貴会におかれましては、毎回、綿密なご準備と、専門的な知識、ご経験、そして会員の皆様同士の連携が合わさって素晴らしい会を創り上げて下さいました。今回の展示は、新型コロナウイルス感染症を受けて調整と準備に一層、心を砕かれたことと思います。誠にありがとうございました。

今回の展示の主人公であるブロニスワフ・ピウスツキは、ポーランドの家庭で生まれ、時代の流れに翻弄されながらも自ら考え、意志を貫き、結果、後世の私たちに貴重な資料と、人としての姿、道筋を示してくれているように思えます。本国ポーランドで彼に注目が集まり始めたのはここ数年で、今ではブロニスワフの弟である元国家元首・ユゼフ・ピウスツキの末裔であるダヌタ・オニシュキェヴィチさんが、ブロニスワフの足跡を辿るプロジェクトを進めています。

ピウスツキの研究について、詳しくは展示をゆっくりとご鑑賞いただきたくと思いますが、加えて期間中に上映されるヴァルデマル・チェホフスキ監督によるドキュメンタリー映像『ピウスツキ・ブロニスワフ～流刑囚、民族学者、英雄』もお楽しみいただけましたら幸いです。ポーランド国内の研究者と、貴会の皆様にご協力を賜り作られた作品です。

最後になりますが、感染症の影響で不安も残る状況の中、お集まりくださった皆様に今一度、深く御礼を申し上げます。皆様にとって学びの多いひと時となりますよう、お祈りいたします。

ポーランド広報文化センター

マリア・ジュラフスカ